

令和2年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和2年5月15日

上場会社名 株式会社ネクシィーズグループ 上場取引所 東
 コード番号 4346 URL <https://www.nexyzgroup.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 太香巳
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理本部長 (氏名) 松井 康弘 TEL 03-5459-7444
 四半期報告書提出予定日 令和2年5月15日 配当支払開始予定日 令和2年6月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無（新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催中止。代表取締役による四半期決算説明の動画配信を予定）

（百万円未満切捨て）

1. 令和2年9月期第2四半期の連結業績（令和元年10月1日～令和2年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年9月期第2四半期	7,928	△4.6	92	△90.6	90	△92.0	△177	—
元年9月期第2四半期	8,315	3.9	986	10.2	1,122	19.0	715	△46.9

（注）包括利益 2年9月期第2四半期 △91百万円（-） 元年9月期第2四半期 983百万円（△20.4%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年9月期第2四半期	△13.75	—
元年9月期第2四半期	55.64	53.21

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2年9月期第2四半期	15,932	7,753	35.4	435.35
元年9月期	14,875	8,185	40.8	470.81

（参考）自己資本 2年9月期第2四半期 5,634百万円 元年9月期 6,069百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
元年9月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2年9月期	—	25.00	—	—	—
2年9月期（予想）	—	—	—	20.00	45.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 令和2年9月期の連結業績予想（令和元年10月1日～令和2年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

新型コロナウイルス感染拡大による事業活動への影響が見込まれ、現時点では連結業績予想の合理的な算出が困難であることから、令和元年11月14日に公表した連結業績予想を「未定」とさせていただきます。今後、新型コロナウイルス感染症の動向を見極めながら、合理的な算定が出来次第速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2年9月期2Q	13,413,640株	元年9月期	13,413,640株
② 期末自己株式数	2年9月期2Q	470,271株	元年9月期	522,951株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2年9月期2Q	12,906,926株	元年9月期2Q	12,857,038株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報等)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、設備投資や雇用・所得の改善を背景に回復基調で推移しておりましたが、世界的な新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大等により急速に悪化し、景気の先行き不透明感がより一層強まっております。また、為替・株式市場においても不安定な状況が続いております。GDP伸び率は、令和元年10月～12月に1.8%減となりました。消費者物価指数(生鮮食品除く)は、前年同月比0.4%～0.8%の間で推移しております。

このような状況の下、当社グループでは、主力サービスであるLED照明等の設置工事費用を含めた初期投資オールゼロで、顧客に最新の設備を導入できる「ネクシィーズ・ゼロシリーズ」(以下、「ネクシィーズ・ゼロ」)を中心として当社の経営資源を最大限に活用し、事業を展開しております。商材の拡充や新しい分野へのスキーム活用に取り組む一方で、中長期の継続的な収益基盤の構築を図っております。

これらの結果、売上高7,928百万円(前年同四半期比4.6%減)、営業利益92百万円(前年同四半期比90.6%減)、経常利益90百万円(前年同四半期比92.0%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は177百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益715百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間における報告セグメントの概況は次のとおりであります。

[ネクシィーズ・ゼロ事業]

ネクシィーズ・ゼロ事業では、「ネクシィーズ・ゼロ」及び「ネクシィーズ電力」の提供、利用者獲得業務及びLED照明等の販売を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、引き続き主力サービスである「ネクシィーズ・ゼロ」の提供に注力しております。同事業では、営業活動は継続できているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部顧客において営業停止による設置工事の遅延や訪問の見送りが発生しております。また、LED照明や業務用空調設備などの一部型番で納品の遅れが発生しました。トイレ設備に関しては在庫が出荷停止となりました。

一方、定額制セルフエステスタジオ「BODY ARCHI(ボディアーキ)」では、新たに横浜店、立川店の2店舗をオープンいたしました。

これらの結果、ネクシィーズ・ゼロ事業は、売上高6,464百万円(前年同四半期比4.6%減)、セグメント利益379百万円(前年同四半期比69.4%減)となりました。

[電子メディア事業]

電子メディア事業では、企業プロモーション支援を目的として、インターネットを主とした各種サービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間においては、引き続き主力電子雑誌である「旅色」の媒体力強化に努めてまいりました。前連結会計年度に行った電子雑誌書籍化が好評を得て、第2弾の書籍を全国の書店・コンビニエンスストアで発売したほか、企業や自治体とのタイアップ誌を発行いたしました。ソリューション業務では、「ECサポートサービス」に注力してまいりました。大手メーカー等の新規案件の獲得による業務受託売上増加を図った一方で、その他のサービスの取扱いが減少しております。

これらの結果、電子メディア事業は、売上高1,464百万円(前年同四半期比4.8%減)、セグメント利益196百万円(前年同四半期比14.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

a. 資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は15,932百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,056百万円の増加となりました。

① 資産の状況

(流動資産)

流動資産は11,744百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,069百万円の増加となりました。これは主に、借入による資金調達等により現金及び預金が989百万円、受取手形及び売掛金が963百万円増加した一方で、リース債権が1,015百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産は4,187百万円となり、前連結会計年度末に比べて12百万円の減少となりました。これは主に、株式の取得等により投資有価証券が86百万円、敷金及び保証金が61百万円、貸倒引当金が133百万円増加した一方で、繰延税金資産が37百万円、償却によりのれんが28百万円、減価償却により建物が11百万円減少したことによるものであります。

② 負債の状況

(流動負債)

流動負債は5,252百万円となり、前連結会計年度末に比べて785百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金が520百万円、1年以内返済予定の長期借入金が195百万円、未払金が358百万円、解約調整引当金が213百万円増加した一方で、買掛金が347百万円、賞与支給により業績連動賞与引当金が173百万円、納税により未払法人税等が5百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債は2,926百万円となり、前連結会計年度末に比べて703百万円の増加となりました。これは主に、長期借入金(1年内返済予定を除く)が723百万円増加したことによるものであります。

③ 純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は7,753百万円となり、前連結会計年度末に比べて432百万円の減少となりました。主な内訳は、非支配株主持分が2百万円増加した一方で、剰余金の配当等により利益剰余金が538百万円減少したこと及び自己株式102百万円を処分等したことによるものであります。

b. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」)の四半期末残高は5,728百万円となり、前連結会計年度末に比べて989百万円の増加となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は160百万円(前年同四半期は597百万円の収入)となりました。これは主にリース債権の減少額1,015百万円、未払金の増加額344百万円、解約調整引当金の増加額213百万円があった一方で、売上債権の増加額963百万円、法人税等の支払額308百万円、業績連動賞与引当金の減少額173百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は238百万円(前年同四半期は802百万円の支出)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入102百万円があった一方で、投資有価証券の取得による支出215百万円、敷金及び保証金の差入による支出66百万円、無形固定資産の取得による支出32百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は1,066百万円(前年同四半期は781百万円の支出)となりました。これは主に、長期借入れによる収入1,300百万円、短期借入金の増加額520百万円があった一方で、長期借入金の返済による支出381百万円、配当金の支払額257百万円、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出185百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が当社グループの事業活動にも影響しており、感染の収束時期や今後の実体経済への影響について見通せない状況が続いております。

当社グループの事業活動におきましては、ネクシィーズ・ゼロ事業では、営業活動が継続できている一方で、訪問の制約や、一部で商品供給や工事の遅延等の影響が出ております。また、電子メディア事業では、主に電子雑誌「旅色」のクライアントである宿泊施設、飲食店等について、今後の営業活動に影響してくるものと予想されます。そのため、現時点で合理的な業績予想の算出が困難であると判断し、令和2年9月期の通期連結業績予想を「未定」とさせていただきます。今後の新型コロナウイルス感染症の動向を見極めながら、合理的な算定が出来次第速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (令和元年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (令和2年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,738	5,728
受取手形及び売掛金	3,119	4,082
リース債権	1,926	910
商品	249	386
未収入金	100	127
その他	849	844
貸倒引当金	△309	△336
流動資産合計	10,674	11,744
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	617	606
工具、器具及び備品(純額)	79	86
建設仮勘定	442	442
その他(純額)	26	20
有形固定資産合計	1,165	1,155
無形固定資産		
のれん	223	195
ソフトウェア	80	71
その他	—	9
無形固定資産合計	303	276
投資その他の資産		
投資有価証券	591	678
敷金及び保証金	503	564
繰延税金資産	1,017	979
その他	710	758
貸倒引当金	△92	△225
投資その他の資産合計	2,731	2,756
固定資産合計	4,200	4,187
資産合計	14,875	15,932

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (令和元年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (令和2年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,543	1,195
短期借入金	730	1,250
1年内返済予定の長期借入金	622	817
未払金	444	802
未払法人税等	104	99
解約調整引当金	291	505
業績連動賞与引当金	328	155
その他	401	426
流動負債合計	4,466	5,252
固定負債		
長期借入金	2,042	2,766
その他	180	160
固定負債合計	2,223	2,926
負債合計	6,689	8,179
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,189	1,189
利益剰余金	5,902	5,363
自己株式	△1,021	△918
株主資本合計	6,070	5,634
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
為替換算調整勘定	△0	0
その他の包括利益累計額合計	△1	0
新株予約権	6	6
非支配株主持分	2,109	2,111
純資産合計	8,185	7,753
負債純資産合計	14,875	15,932

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成30年10月1日 至平成31年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自令和元年10月1日 至令和2年3月31日)
売上高	8,315	7,928
売上原価	4,069	3,766
売上総利益	4,245	4,162
販売費及び一般管理費	3,258	4,070
営業利益	986	92
営業外収益		
受取利息	0	6
投資有価証券売却益	168	3
還付加算金	—	4
その他	6	3
営業外収益合計	175	17
営業外費用		
支払利息	4	8
支払手数料	11	3
保険解約損	4	—
貸倒引当金繰入額	18	7
その他	0	0
営業外費用合計	39	19
経常利益	1,122	90
特別損失		
固定資産除却損	17	—
投資有価証券売却損	9	—
関係会社株式評価損	—	15
合意解約金	40	—
契約精算損	96	—
その他	8	—
特別損失合計	172	15
税金等調整前四半期純利益	950	74
法人税、住民税及び事業税	261	129
法人税等調整額	△392	37
法人税等合計	△130	166
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,080	△92
非支配株主に帰属する四半期純利益	364	85
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	715	△177

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成30年10月1日 至平成31年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自令和元年10月1日 至令和2年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,080	△92
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△96	△0
為替換算調整勘定	△0	0
その他の包括利益合計	△96	0
四半期包括利益	983	△91
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	619	△176
非支配株主に係る四半期包括利益	364	84

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成30年10月1日 至平成31年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自令和元年10月1日 至令和2年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	950	74
減価償却費及びその他の償却費	59	49
のれん償却額	15	28
解約調整引当金の増減額(△は減少)	△9	213
業績連動賞与引当金の増減額(△は減少)	△140	△173
貸倒引当金の増減額(△は減少)	172	159
受取利息及び受取配当金	△0	△6
支払利息	4	8
投資有価証券売却損益(△は益)	△158	△3
関係会社株式評価損益(△は益)	—	15
固定資産除却損	17	—
合意解約金	40	—
契約精算損	96	—
売上債権の増減額(△は増加)	△149	△963
リース債権の増減額(△は増加)	525	1,015
たな卸資産の増減額(△は増加)	△100	△136
立替金の増減額(△は増加)	△72	84
仕入債務の増減額(△は減少)	△3	△347
未払金の増減額(△は減少)	△29	344
未払消費税等の増減額(△は減少)	△88	72
預り金の増減額(△は減少)	△100	43
その他	141	△9
小計	1,170	469
利息及び配当金の受取額	0	8
利息の支払額	△4	△8
合意解約金の支払額	△40	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△528	△308
営業活動によるキャッシュ・フロー	597	160
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△189	△215
投資有価証券の売却による収入	270	102
有形固定資産の取得による支出	△250	△18
無形固定資産の取得による支出	△44	△32
敷金及び保証金の差入による支出	△61	△66
敷金及び保証金の回収による収入	30	0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△511	—
その他	△45	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△802	△238

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成30年10月1日 至平成31年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自令和元年10月1日 至令和2年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	500	520
長期借入れによる収入	—	1,300
長期借入金の返済による支出	△181	△381
非支配株主からの払込みによる収入	33	61
セール・アンド・リースバックによる収入	11	—
配当金の支払額	△189	△257
自己株式の取得による支出	△973	△0
自己株式の処分による収入	120	40
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△75	△185
その他	△27	△29
財務活動によるキャッシュ・フロー	△781	1,066
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△986	989
現金及び現金同等物の期首残高	6,221	4,738
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,234	5,728

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び一部の連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行に合わせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 令和2年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 平成30年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成30年10月1日至平成31年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ネクシィーズ・ゼロ事業	電子メディア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	6,775	1,539	8,315	8,315	—	8,315
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	0	0	△0	—
計	6,776	1,539	8,315	8,315	△0	8,315
セグメント利益	1,238	229	1,468	1,468	△482	986

(注) 1. セグメント利益の調整額△482百万円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。

なお、全社収益は主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用及び各報告セグメントに配分していない人件費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 令和元年10月1日 至 令和2年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ネクシィーズ・ゼロ事業	電子メディア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	6,464	1,464	7,928	7,928	—	7,928
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,464	1,464	7,928	7,928	—	7,928
セグメント利益	379	196	575	575	△483	92

(注) 1. セグメント利益の調整額△483百万円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。

なお、全社収益は主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用及び各報告セグメントに配分していない人件費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。